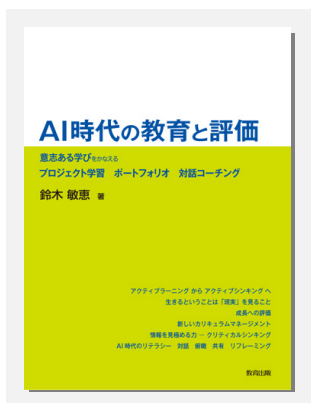
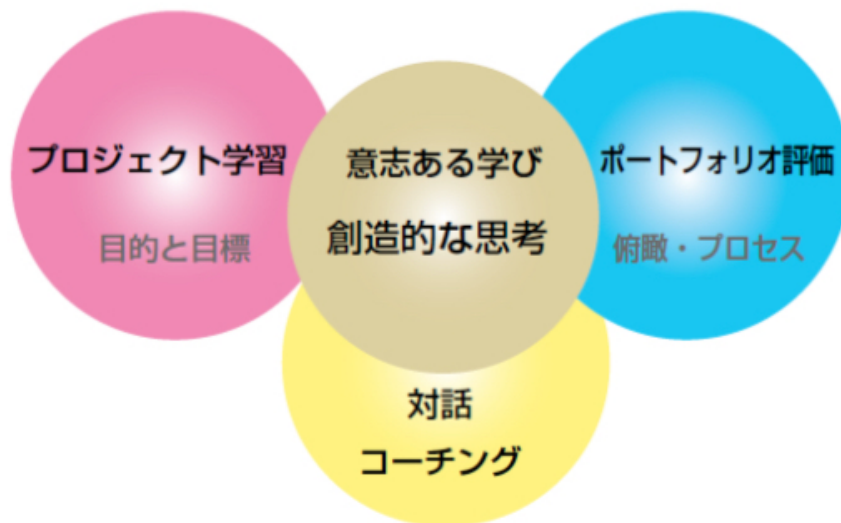


意志ある学びー未来教育

次世代プロジェクト学習・ポートフォリオ・対話コーチング

鈴木敏恵：未来教育クリエイター
(architect・一級建築士)



出典：書籍『AI時代の教育と評価』

著者：鈴木敏恵

1. 人間にしかできない『創造的な思考・対話』

図:教育の進化				与えられた学びから「意志ある学び」へ…		未来教育デザイン 鈴木 敏恵
教育の手段		T teacher	S student	教育の成果		
コンピュータでもできる教育	過去 ↓	コマンド	このリンゴを食べなさい。		はい。	従順性
	現在 ↓	ティーチング	リンゴは○○○なんだよ。		わかりました。	知識・理解
	未来 ↓	コーチング 対話・愛 project based learning portfolio	何のために？		私のビジョンは○○だから…	創造的な思考 ☐ ビジョン力(未来を描く力) ☐ 現実から情報を獲得する力 ☐ 現実から課題を見出す力 ☐ 目標を設定する力 ☐ クリティカルシンキング ☐ 俯瞰(全体を広く見渡す)力 ☐ エビデンスをもった課題解決 ☐ 思考力・判断力・表現力

[思考力 判断力 表現力]の対話コーチング

鈴木 敏恵

- 思考 現状・状況…「今はどうなの？」
ありたい状態…「どうだったらいいの？」
- 判断 決め手 …… 「いちばん大事なことは何？」
押さえ …… 「何と何を比べたの？」
- 表現 目的 …… 「何(誰)のためにするの？」
効果 …… 「それで何を变えたいの？」

Copyright © 2022 シンクタンク未来教育ビジョン 鈴木敏恵 All Rights Reserved

現状・状況…「今はどうなの？」

ありたい状態…「どうだったらいいの？」

焦点化…「いちばん大事なことは何？」

行動化…「そのために具体的に何をしますか？」

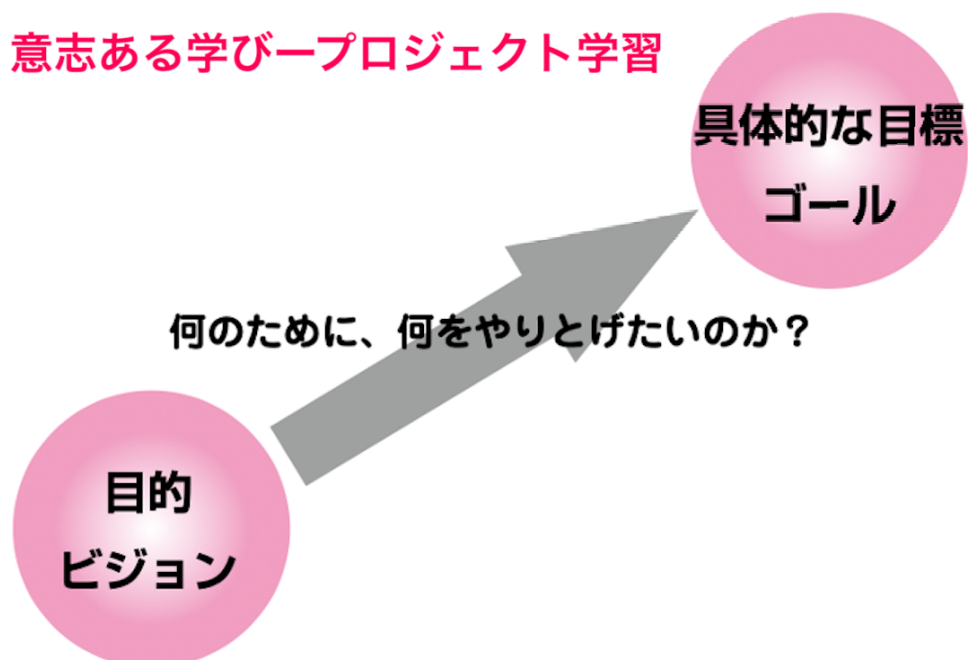
目的確認…「何のために？」

- ・まずは、相手が話すようにする。
- ・想像力、イメージを誘いながら問
- ・選択形式の問いかけはしない。
- ・1回にひとつの内容、短いことば
- ・相手に答えを言わせようとするの
コーチングではなく誘導。

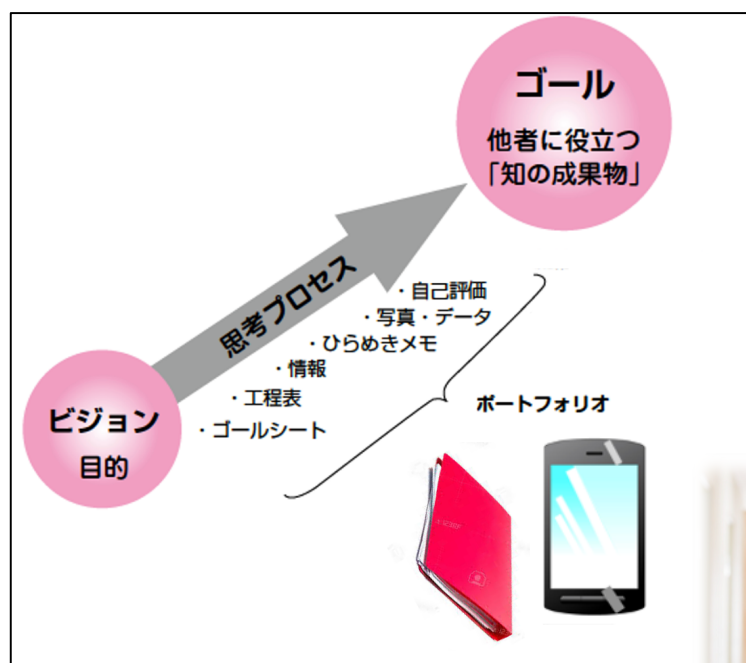
2. プロジェクト学習とポートフォリオの関係

未来教育プロジェクト学習とは、学習者自身が「何のために、何をやりとげたいのか」を明確にして明確な目標（ゴール）へ向かう学習です。目標へ向かうプロセスで手に入れた知識や情報をポートフォリオへ一元化します。

意志ある学びプロジェクト学習



ポートフォリオで「知の共有」



デジタル空間（Google クラス）
のポートフォリオ時空を超えて

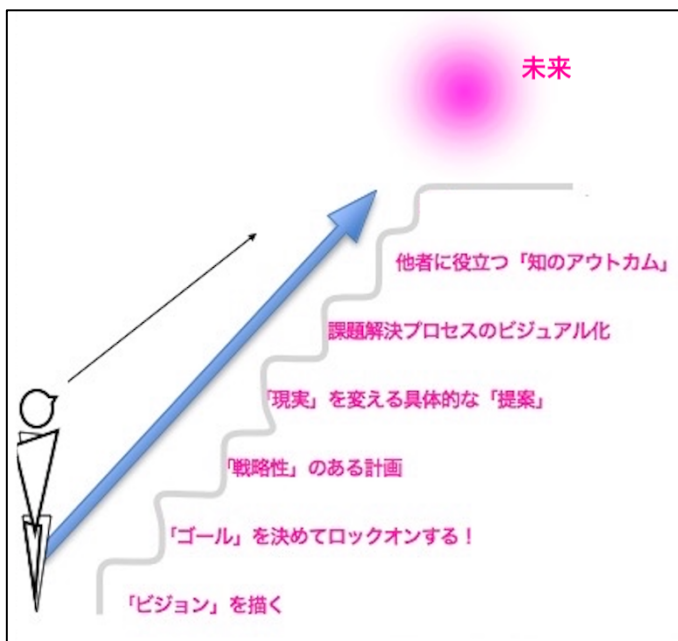
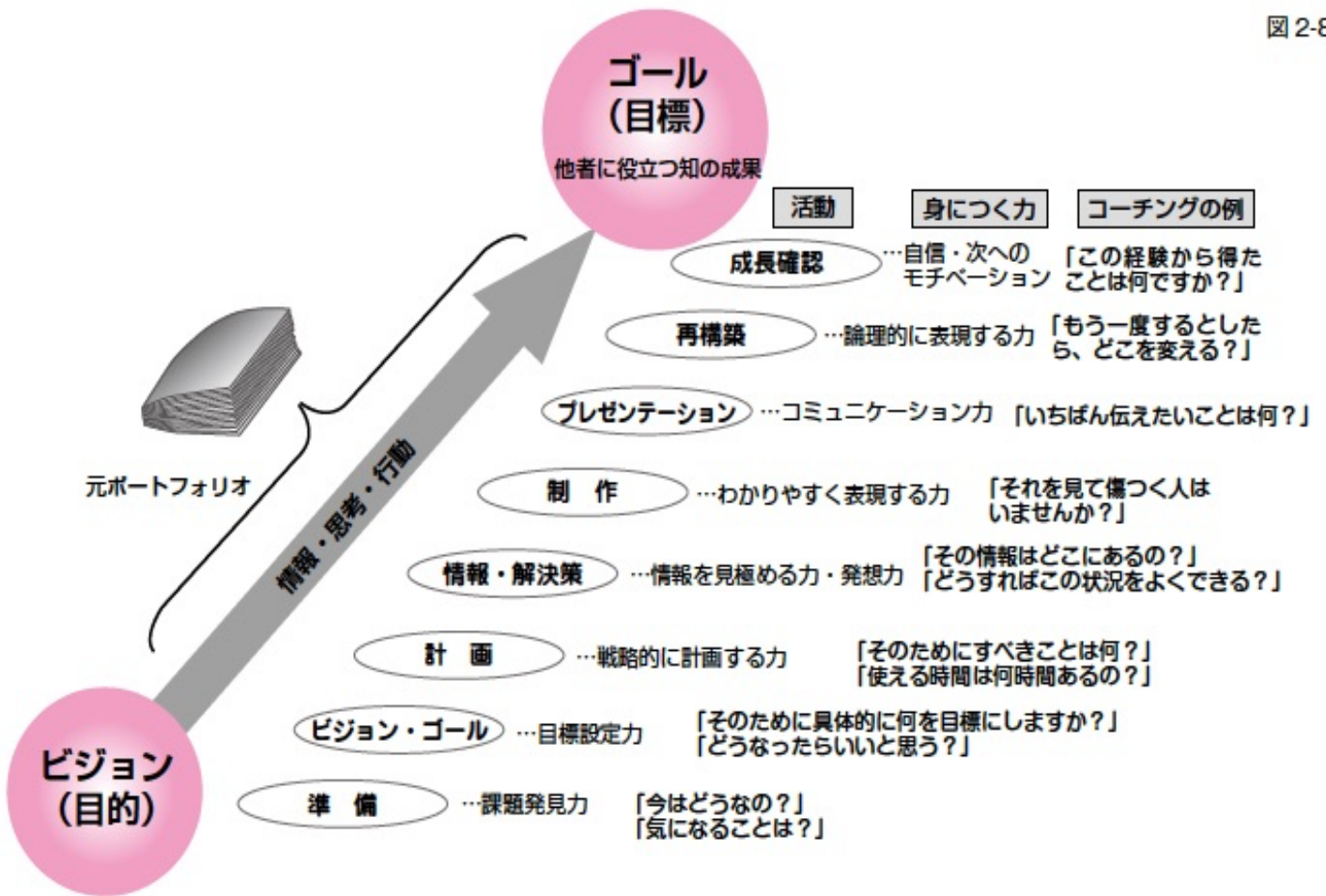


写真：東京都青梅市立総合病院 HP



3. プロジェクト学習の[フェーズ]と[身につく力]と[コーチング]

図 2-8



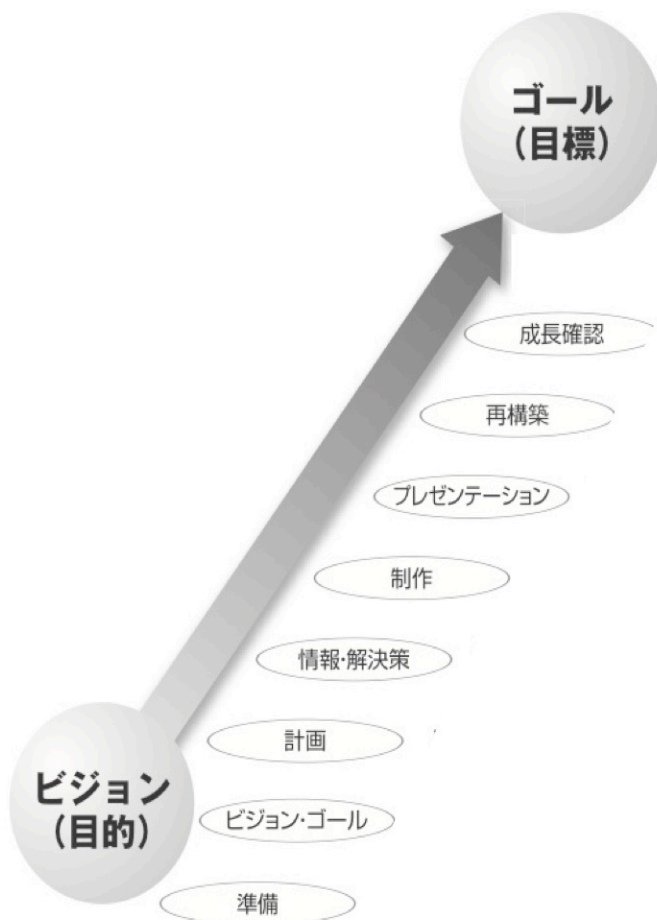
＜未来は自分がつくる＞

- ・未来思考
- ・俯瞰
- ・未来へ“ロックオン”

4. プロジェクト学習の各フェーズで身につく力

未来教育プロジェクト学習の手法で

新しい時代を生きる力が身につきます。



	プロジェクト学習で「身につく力」
準備	☐ 課題発見力 ☐ 気づく力 ☐ 観察する力 ☐ 状況をつかむ力 ☐ 現実から問題を見出す力 ☐ 社会意識 ☐ 俯瞰する力
ビジョン・ゴール	☐ 目標を設定する力 ☐ ありたい状態／ビジョンを描く力 ☐ 現実主體的にかかわる力 ☐ やりとげる意志 ☐ 前向きな姿勢
計画	☐ すべきことをイメージする力 ☐ 優先順位を決める力 ☐ 時間を的確に配分する力 ☐ 戦略的に計画する力
情報・解決策	☐ 根拠ある情報を獲得する力 ☐ 情報を見極める力 ☐ 分析する力 ☐ 比較する力 ☐ 分類する力 ☐ 礼儀・礼節 ☐ 多面的にものを見る力 ☐ 目の前の事態に対応する力
制作	☐ わかりやすく表現する力 ☐ 情報を取捨選択する力 ☐ 図、表、グラフを適切に使う力 ☐ 概念図等を使い端的に簡潔に表現する力
プレゼン	☐ コミュニケーション力 ☐ ノンバーバルな表現力 ☐ 比喩等でわかりやすく表現する力 ☐ 根拠をもとに説明する力 ☐ 聞き手の思いや理解を推察して話す力 ☐ 他者のプレゼンを評価する力 ☐ 他者のプレゼンから学びとる力
再構築	☐ 論理的に表現する力 ☐ 根拠に基づいて結論を導く力 ☐ 適切に項目立てし、見出しを立てる力 ☐ 的確で簡潔な文章を書く力 ☐ 試行錯誤しつつよりよいものを生み出そうとする姿勢
成長確認	☐ 成長や成果を評価する力 ☐ 自己有用感 ☐ 自尊感情 ☐ より成長しようとする意欲

5. ポートフォリオの基本

■ ポートフォリオとは

ポートフォリオとは、その人自身がこれまでの「学習歴」や「活動歴」「実績歴」などをファイルしたもの。それは紙ばさみや建築家などがもっている作品集ファイルを意味します。バラバラの情報を一元化するもの。その人自身の意志で成果や情報を一元化したもの。学習や仕事のプロセス全体が俯瞰して見えるファイル。

■ ポートフォリオの目的

学習や仕事の成果を上げるとともに本人のより高い成長のためにあります。

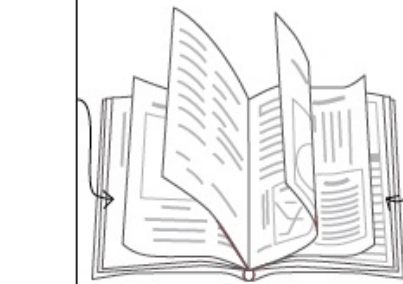
ポートフォリオで俯瞰することができる。

方向性がぶれることなくそのクオリティをあげます。

■ ポートフォリオの効果

- 1 「目標」や「成果」や「評価」を明確にする
- 2 結果だけでなく「プロセス」の評価ができる
- 3 自己評価・他者評価など「360度評価」が叶う
- 4 資質、個性や特性が見いだせるキャリアビジョンに役立つ

- ・ゴールシート
- ・計画表（工程表）
- ・文献資料
- ・アイデアメモ
- ・写真
- ・アンケート



- ・プリント
- ・自己評価 / 他者評価
- ・各種データ
- ・関連する資料（新聞、ネット）

ル
ー
ル

- ・入れるものには日付や出典を記入する。
- ・入れる順番は前から時系列に入れる。
- ・下書き、途中メモも入れる。

★ファイル種類：A4サイズのクリアポケットファイル

★入れるもの：自分が手に入れた情報、自分が生み出した考え、気づきメモなど

©2015 シンクタンク未来教育ビジョン 鈴木敏恵 All Rights Reserved.

6. プロジェクト学習：ポートフォリオに入っていないかもしれない中身

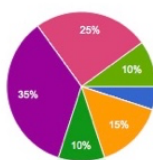
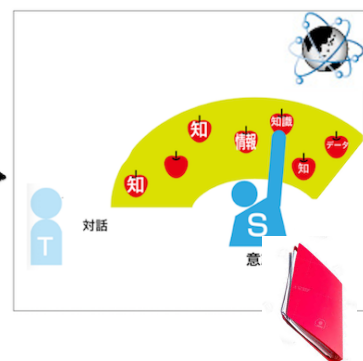
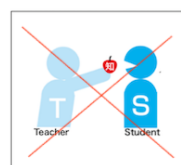
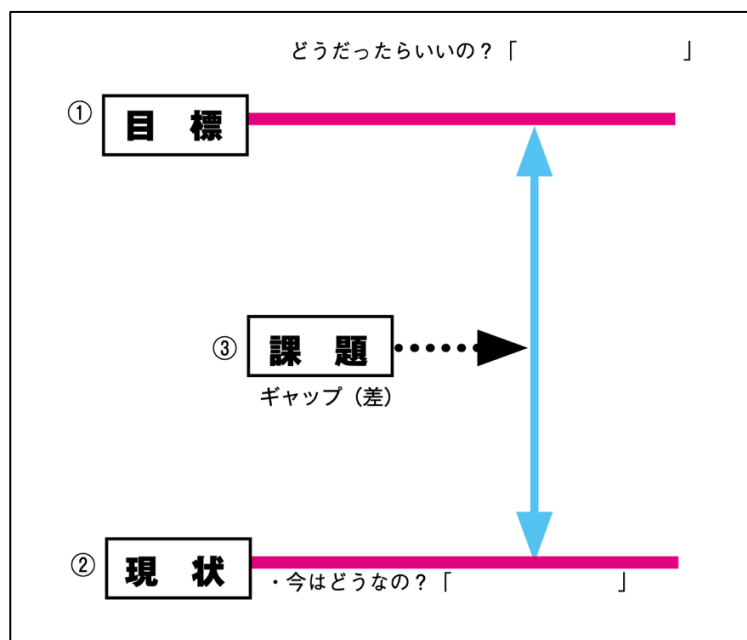
[共通]

構想・設計：鈴木敏恵

- ☐ 各フェーズの区切りに「目標」と「評価」を入れる
- ☐ 「メモ」や「下書き」なども入れる

- **phase1：準備** **＜対象の現状・課題＞**
 - ☐ ①題材について、いま自分が知っていること、感じていること、願い、動機など
 - ☐ ②題材について、「根拠ある情報」基本知識：公的機関にあるデータ・論文など
 - ☐ ③題材について、「現実・現地」から得た情報（現状の写真、観察、気づき・記録メモ、データなど）
 - ☐ ④題材について、「他者」の見方、考え方、多様な立場の人からインタビューしたもの
 - ☐ ⑤題材について、「社会的価値」位置付けなどを書き出したもの（根拠・方向性）
 - ☐ ⑥題材について、「自分ごと」としての価値・関連性などを書き出したもの
- **phase2：ビジョン・ゴール** **＜目的と目標＞**
 - ☐ 何のために（目的・ビジョン）と何をやり遂げたいのか（目標・ゴール）を書いた『ゴールシート』
 - ☐ プロジェクト学習の基本フェーズの進行（期日・大まかな予定）がわかるもの
 - ☐ プロジェクト学習の基本フェーズごとの「目標」「成果」と「成長」を書き出したもの
- **phase3：計画** **＜すべき仕事と時間配分＞**
 - ☐ すべき仕事を洗い出し時系列に可視化したもの
 - ☐ どうすれば最もいい仕事ができるのか戦略を考えたもの
 - ☐ いつ、何を、どうするのか、目標までにすべき全体が見える『工程表（計画表）』
- **phase4：情報・解決策** **＜課題解決への情報獲得・発想/アイデア＞**
 - ☐ 一般的情報・類似事例・関連事項、事例など情報/異分野、異領域からの発想メモ
 - ☐ 題材と人や環境が本来あるべきイメージを念頭にした、独自の発想、アイデア・関連図
 - ☐ あるべき理想と現状とのギャップ（課題）となっている要因を探る分析、思考メモ
 - ☐ 分析するための比較、分類、関係など検討、概念図やイメージ、地図、平面図など
 - ☐ 解決のために考えだせる限りの可能性の書き出し課題解決策の妥当性を検討したこと
 - ☐ その解決策を実施するときのリスク・予期せぬ影響を考え書き出したもの
 - ☐ 様々な試行錯誤の痕跡がわかるもの、検討メモ
 - ☐ その解決策に絞った経緯、思考プロセスがわかるもの
- **phase5：制作** **＜プレゼンのための制作＞**
 - ☐ 提案することの現状、根拠、具体的な課題解決策など集約したパラグラフの塊
 - ☐ 知を構造化のための（パラグラフの）レイアウトを検討したもの、下書き
 - ☐ 自分と逆の立場の人がどう受けとめるかイメージしてみたもの
- **phase6：プレゼンテーション** **＜成果の披露と評価＞**
 - ☐ 最も効果的なプレゼンテーションにするためのアイデアやスキルメモ
 - ☐ プレゼンテーションで得たメッセージや他者評価、自己評価
 - ☐ 改善メモ：工夫した展開や自分の表情、動きなどの
- **phase7：再構築** **＜プロジェクトの価値化（アウトカム）＞**
 - ☐ 収斂させた文章や概念図を含む「凝縮ポートフォリオ」の素材など
 - ☐ 他者の「凝縮ポートフォリオ」から学んだこと
- **phase8：成長確認** **＜プロジェクトで身についた力＞**
 - ☐ プロジェクト全体をフィードバックして得た価値あることや気づき
 - ☐ 目に見える成長、目に見えない成長/プロジェクト前後の物事の捉え方など変化・変容

7. ポートフォリオに『現状』の情報が入っているか！



- 小学校
- 中学校
- 高校
- 専門学校
- 大学
- 社会施設
- 医療関係者
- 他



DX ポートフォリオ

8. ポートフォリオ活用 ― 思考や行動を客観的に見る

ポートフォリオで成長へのリフレクション 1

リフレクション：内観・内省

リフレクション、そこには自己を高めたい、成長したいという前向きな未来への思いがある。



ポートフォリオで自分の経験を
つぶさに追うことができる

- ・見たこと
- ・考えたこと
- ・やったこと
- ・そのときの気持ち
- ・そのときの状況（写実的な）

リフレクション（内省 内観）のコーチング

「そのときどんな心の状態だった？」

「その時の状況を教えてくれる？」

「その前は何を考えていたんだっけ？」

「その後はどんな感情だった？」

「そのときどんな対応がほかに考えられる？」

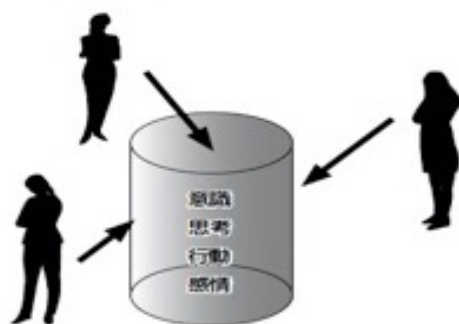
「同じような状況になったら、今ならどうできるとおもう？」

「それができるために何が必要？」

発想を広げるリフレーミング

リフレーミング

ちがった見方ができる。



©2015 シンクタンク未来教育ビジョン 鈴木敏恵 All Rights Reserved.

9. ポートフォリオの3つの種類と目的

ポートフォリオはプロジェクト学習だけでなく、よりよき未来の実現を願うすべての人のすべての状況に機能する。その目的により次の3つに大きくわけることができる。

■目的

- ・クオリティーの高い成果
- ・コンピテンシー修得
- ・目標到達/戦略/自己評価

■対応領域

- ・一般教科/総合学習
- ・プロジェクト学習
- ・体験学習
- ・臨床研修/現場実習
- ・継続教育
- ・目標管理
- ・クリニカルラダー
- ・認定看護師

パーソナル ポートフォリオ

入れるモノ: 関心・実績

■目的

- ・自己受容/自尊感情
- ・キャリアマネジメント
- ・自己能力のプレゼンテーション

■対応領域

- ・個性発見/進路設計/進路選択
- ・採用面接/人事考査
- ・目標管理
- ・キャリアパス
- ・チームビルディング
- ・臨床研修/認定看護師…etc

テーマ ポートフォリオ

入れるモノ: 仕事・学習

ライフ ポートフォリオ

入れるモノ: 体・健康

■目的

- ・自立
- ・セルフマネジメント
- ・健康管理/生活改

■対応領域

- ・生活習慣病(糖尿
- ・医師との情報共有
- ・チーム医療
- ・在宅看護…etc

ポートフォリオとは: 自らの意志で、自らの成果や自ら手に入れた情報を一元化したもの。

図 7-3

<キャリアポートフォリオへ入れるもの>



A『専門・スキル・研究・経験』がわかるもの

…研修・資格、資格やスキルを発揮など

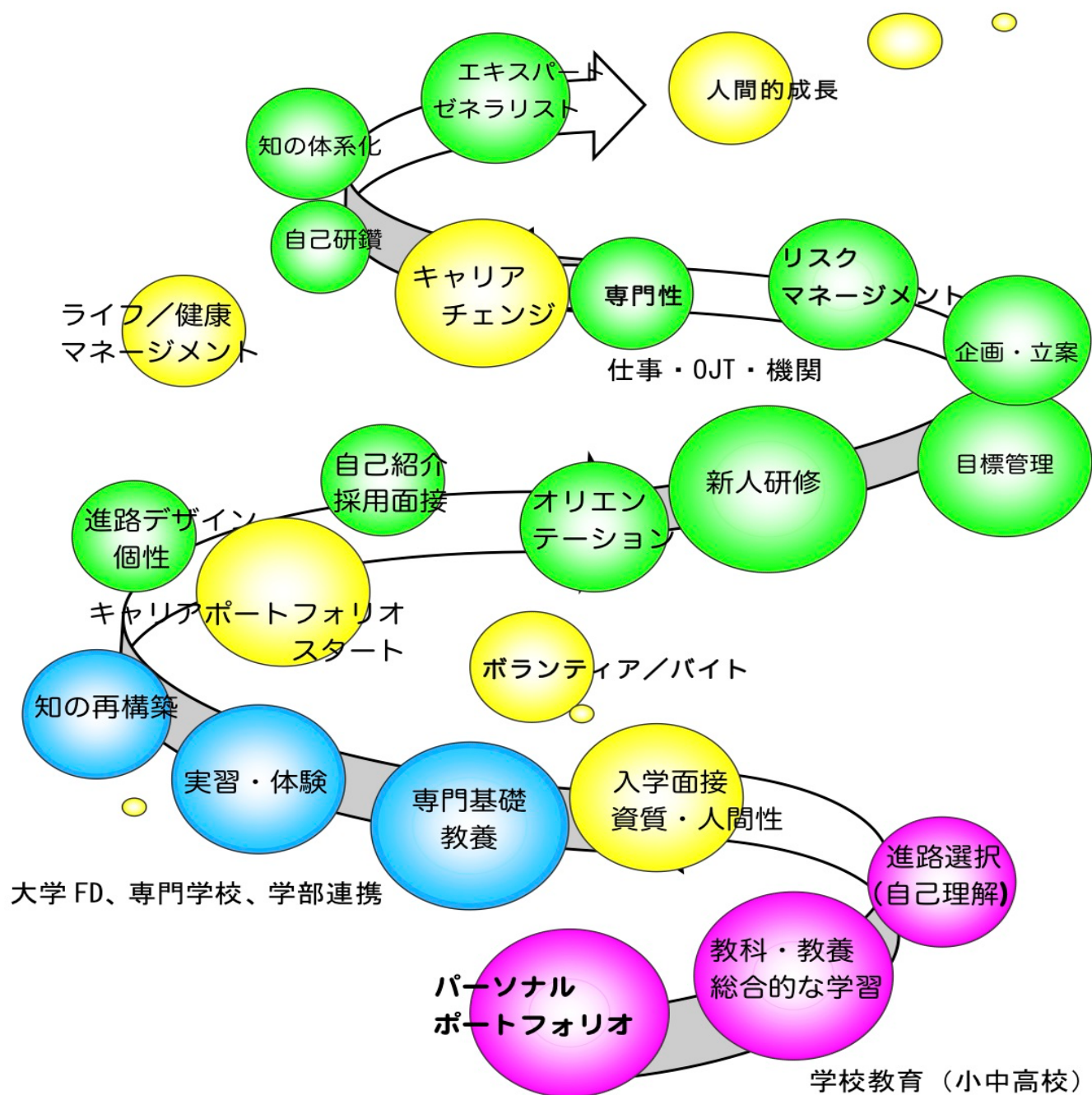
B『人間性・社会性・挑戦心、自らを変化させる力』がわかるもの

…ボランティア・チャレンジしたことなど

C『才能・感性・持ち味・得意』がわかるもの

…作品、企画など

10. ポートフォリオ・プロジェクト学習が活きるシーン



鈴木敏恵の未来教育プロジェクト (c) <http://www.mirai-project.net/>

ポートフォリオ・プロジェクト学習 講座

未来教育オンライン講座：鈴木敏恵



このオンライン講座は、無料大学講座
『JMOOC 公認プラットフォーム／OpenLearning, Japan』
において収録・講義されたものです。

未来教育オンライン講座：鈴木敏恵

① 4 week、lesson1-1：

目標マネジメント・新人研修・人材育成へ PF を活かす(4 分 20 秒)

https://www.youtube.com/watch?v=ZM-ghmQo5c&index=1&list=PLi18SZs07-R-uU96TOXBj_eyzViNBsRDD



② 4 week、lesson3：

キャリア PF を実習・インターンシップに活かす (0～7 分 55 秒)

https://www.youtube.com/watch?v=ztS9y_o1vrQ&list=PLi18SZs07-R-uU96TOXBj_eyzViNBsRDD&index=4



③ 1 week、lesson3：

プロジェクト学習の基本と手法(12 分 32 秒)

https://www.youtube.com/watch?v=hqLz_ECi6L4&list=PLi18SZs07-R-uZCgohpC2BqZDZpLZV8yG&index=3



④ 1 week、lesson4：

ポートフォリオと対話コーチング (16 分 36 秒)

<https://www.youtube.com/watch?v=8sLQdUSXiGQ&list=PLi18SZs07-R-uZCgohpC2BqZDZpLZV8yG&index=4>



⑤ 3 week、lesson3：

課題発見・解決に不可欠なリフレーミング (9 分 38 秒)

<https://www.youtube.com/watch?v=ewHnhB18RQc&index=3&list=PLi18SZs07-R8Evez1Rynjn8Aj3vdkaij1>



鈴木敏恵 プロフィール

一級建築士・architect・次世代教育クリエイター・シンクタンク未来教育ビジョン 代表。
文部科学省『ものづくり日本大賞 2022』選考委員、文部科学省『新たな看護師養成カリキュラムに対応した指導の手引き作成のための検討会メンバー2021』『石川県教育委員会 探究アドバイザー 2022』他

【公職歴】 内閣府中央防災会議専門委員・ 国立大学法人千葉大学教育学部特命教授・東北大学非常勤講師・放送大学非常勤講師(専門：心理と教育)・ 島根県立看護短期大学客員教授・日本赤十字秋田看護大学大学院非常勤講師。先進的教育ネットワークモデル地域事業企画評価委員(文科省総務省連携プロジェクト)ほか

建築家として『作品：日本初インテリジェント化された未来型学び舎誕生』NHK ニュースにて全国放送で紹介される。以後、IT 環境の実現、AV ネットワーク化、遠隔教育システム、CAI 導入など、学校のインテリジェント化、教育の未来化を先導。『日本計画行政学会賞』特別賞受賞。日本で最初のポートフォリオ・プロジェクト学習の理論と多様な実践を網羅した書籍。『AI 時代の教育と評価（教育出版）』、『ポートフォリオで未来の教育（日本看護協会出版会）』『アクティブラーニングを超えた看護教育を実現する（医学書院）』等ポートフォリオ、プロジェクト学習、未来教育シリーズなど47冊の著作。

「意志ある学びー未来教育」をコンセプトにプロジェクト学習、ポートフォリオ、対話コーチングなどを融合させた次世代教育を全国展開。主に教育界、医学界へ新人教育、指導者育成、次世代教育構想コンサルタント等を行う。

【作品】教育のインテリジェント化



- (1) 「未来学び舎モデルスペース」【第一回インテリアプランニング賞】部門特別賞受賞作品
(2) TO MIND COSMOS 「内なる宇宙への昇華」【第六回本郷新賞】札幌彫刻美術館主催/ 後援文化庁ノミネート作品
(3) 「インテリジェントスクール21」【第4回日本計画行政学会計画賞】特別賞受賞作品
(4) 病院内学級で「テレビ会議システム」を活用した遠隔授業の支援 1995